

県人口280万人を超える

昭和63年茨城県の人口と世帯(速報)

はじめに

「茨城県常住人口調査」では、国勢調査の間における人口及び世帯の移動状況を明らかにするため、「同調査規則(昭和45年規則第28号)」に基づき、毎月、市町村から報告を得て、県及び市町村の人口及び世帯数を推計、公表しています。

この「速報」は、昭和63年(1月～12月)の調査結果のうち早期利用の便をはかるため県、地域及び市町村の主要項目についての概数を2月に公表しましたが、これはこの一部を抜粋したものです。

なお、ここに示す数値は、後日、公表する「年報」の数値と若干異なる場合がありますので、利用には留意下さい。

概況

本県の人口は、昭和63年中に27,883人増加し、昭和64年1月1日現在で2,804,700人となった。人口増加率は1.00%である。これを前年と比べると、数で2,931人上回り、率で0.09ポイントの上昇である。62年は5年ぶりに人口増加の数、率ともに前年を上回ったが、今回も引き続き、前年を上回ったのが顕著である。

内訳は、自然動態で12,194人(出生30,675人、死亡18,481人)、社会動態で15,689人(転入130,174人、転出114,485人)、それぞれ増加した。

人口増加を地域別にみると、県南地域が17,897人(増加率2.16%)で最も大きく、以下、県北地域4,169人(0.37%)、県西地域4,152人(0.75%)、鹿行地域1,665人(0.65%)である。この結果、4地域の県人口に占める割合は、昭和64年1月1日現在(2,804,700人)で、県北地域(1,140,089人)が40.6%、県南地域(848,080人)が30.2%、県西地域(558,495人)が19.9%、鹿行地域(258,036人)が9.2%となっている。

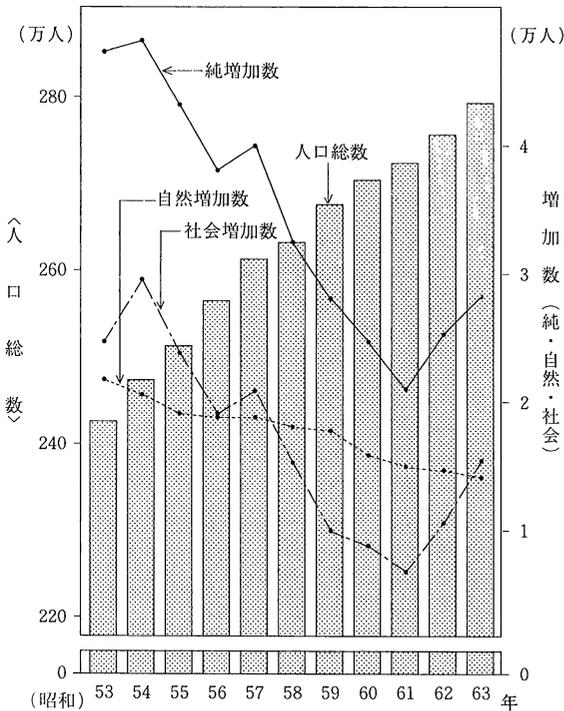
また、市町村別にみると、守谷町の11.41%が最も高く、以下、牛久市(4.24%)、瓜連町(4.12%)、三和町(3.86%)、竜ヶ崎(3.74%)の順である。

一方、減少率の高い市町村は、七会村(△1.49%)、桂村(△1.06%)、美和村(△0.98%)、水府村(△0.94%)、山方町(△0.92%)の順である。

次に、世帯数についても、14,955世帯(1.90%)増加して、昭和64年1月1日現在で800,259世帯となった。世帯数の増加率は人口の増加率より0.90ポイント高くなっている。

(統計課・人口労働グループ)

図一 人口及び増加数の推移 茨城県



注) 人口総数は各年1月1日現在。